

27年5月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成27年5月1日～ 27年5月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
5月分の回答企業数7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/5月	6月	7月
入荷動向	国産材製材品	△ 21.4	△ 14.3	△ 7.1
	外材製材品	△ 21.4	△ 14.3	△ 7.1
	その他	△ 30.0	△ 20.0	△ 10.0
販売動向	国産材製材品	△ 35.7	△ 21.4	△ 21.4
	外材製材品	△ 35.7	△ 21.4	△ 21.4
	その他	△ 30.0	△ 20.0	△ 30.0
在庫動向	国産材製材品	14.3	0.0	0.0
	外材製材品	0.0	△ 7.1	△ 7.1
	その他	0.0	0.0	0.0

・国産材、外材及びその他の製材品の荷動きは、入荷及び販売は3ヵ月連続して減少。

・在庫は、国産材は5月の増加が6月、7月は横這い、外材は5月の横這いが6月、7月は減少、その他は3ヵ月連続して横這い。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		27/5月	6月	7月
スギ	柱角 KD10.5×3	△ 7.1	7.1	0.0
	柱角 KD12×3	△ 14.3	0.0	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	△ 7.1	0.0	0.0
	母屋角	△ 7.1	7.1	0.0
	タルキ	0.0	0.0	0.0
	間柱	△ 14.3	0.0	0.0
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	0.0	0.0	0.0
	平割	△ 8.3	0.0	0.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	△ 7.1	0.0	△ 7.1
	柱角 KD12×3	△ 7.1	0.0	△ 7.1
	土台角 10.5×4	△ 14.3	0.0	△ 7.1
	土台角 12×4	△ 14.3	0.0	△ 7.1
通し柱 12×6	8.3	8.3	0.0	
カラマツ土台角10.5×4	0.0	0.0	0.0	
米マツ平角	△ 8.3	△ 8.3	△ 8.3	
米マツ割物	△ 7.1	△ 14.3	△ 16.7	
北洋エゾマツタルキ	0.0	0.0	0.0	
北洋アカマツタルキ	△ 10.0	0.0	0.0	

・スギ製材品の価格は、5月に弱保合があるもの総じて保合で推移。

・ヒノキ製材品は、5月の弱保合が6月保合、7月は再び弱保合に。

・カラマツ土台角は保合で推移。
・米マツは、平角、割物共に弱含みで推移。

・北洋エゾマツタルキ、アカマツタルキは総じて保合で推移。

モニターからのコメント

(荷動き)

・国産材、外材とも入荷順調。荷動きはスギのヌキ、銅縁、防音材主体、アカマツタルキ3m、4m、他にWW間柱の動きあり。構造材は動き少ない。6月6日の記念市用に今回は、国産材、外材共在庫増やす。
・実需伸びず入荷を控えている。販売低調、在庫の変動も良くない。
・入荷は素材減の見通しだが需要次第、販売は特に変化なし、必要十分な在庫。
・一部プレカット工場を除き売行きは良くない、その影響で価格も弱含み続く。
・住宅需要の低迷、製品市況の下落から売行きは厳しい。スギ、ヒノキ構造材は依然低調、増改は荷動きあるが全般に低迷。

(価格動向)

- ・スギ柱角 (KD10.5cm、12.0cm) 60,000円/m³、スギ桁角 (東北グリーン材) 40,000円/m³、母屋角 (東北材) 40,000円/m³、スギタルキ (東北材) 45,000円/m³、スギ間柱 (KD) 65,000円/m³、スギ加工板 (グリーン材) 東2,800円、(KD) 東3,800円、スギヌキ (東北) 40,000円/m³、(秋田) 48,000円/m³、スギ平割 (プレーナー) 45,000円/m³、同 (ラフ) 40,000/m³、ヒノキ柱角 (KD10.5cm、12.0cm) 90,000円/m³、ヒノキ土台角 (10.5cm) 85,000円/m³、ヒノキ土台角 (12.0cm) 90,000円/m³、米マツ平角KD65,000円/m³、米マツ割物AD65,000円/m³、北洋アカマツタルキ (S) 68,000円/m³、(P) 58,000円/m³。
- ・スギ製材品の価格は低いところを維持している模様、住宅用のヒノキ材は売行き悪し、神社、仏閣用のヒノキ材に動きが。米マツは下げ圧力強いが現状維持、北洋エゾ、アカマツタルキは価格維持が精一杯。
- ・スギ構造材は4月にかけて若干下落するもその後は横ばい。ヒノキは素材減による引き締めを期待する向きがあり、期待通りいくかは不透明。